

令和6年度 北部地区子ども支援net 事後アンケート

令和6年6月21日（金）

龍郷町役場 2階会議室

参加者： 49 名

回答者数： 34 / 44 名 （講師、事務局除く）

回答率： 77%

1.ミニ研修について「発達支援における保護者との連携」

【研修全般について】

- ・説明が事例や具体例が示されて分かりやすかった。（3）
- ・参考になる内容が多くあり、とても良い研修だった。（4）
- ・今後役に立つ内容だと思った。
- ・身近に感じることを分かりやすく話だった。すぐに実践していきたいと思った。
- ・「支援者の心づもり」や「保護者への支援や連携に関する考え方」など大切なことをピンポイントで、具体的に聞いたのでよかった。（2）
- ・「難しいと感じることはみんな一緒」だということや「保護者への伝え方や関わり方」など今後の支援に参考となる研修だった。

【保護者支援や関わり方について】

- ・保護者への支援の重要性について、気づきの多い研修だった。（2）
- ・保護者支援の在り方、大切さについて、本当に分かりやすい研修だった。
- ・保護者との関りについて、ヒントがたくさんあり、大変参考になる内容だった（2）
- ・保護者への関わり方や伝え方について具体例などがあり学びになった。（2）
- ・保護者との連携に関する内容の研修は初めてだったのでとても良かった。
- ・「保護者を傷つけてしまう言葉」「保護者の支えになる言葉」は、自分が今後支援していく中で、参考になったと思う。
- ・「保護者との連携の難しさ」「具体的な言葉かけの方法」「どういったスタンスで関わるとよいか」などについて、再度確認することができ、とてもありがたい研修だった。
- ・子どもだけでなく、保護者との信頼関係を築く上で、必要なことをたくさん知ることができた。今後活用していきたいと思うことができた。
- ・「保護者への伝え方」については、現在保育所全体でも話題になっていたため、学ぶことができる良い機会となった。。他の職員にも共有したいと思った。

【キーワードやヒントについて】

○「自分のものさしで測らない」「決めつけない」という言葉について

- ・この言葉を忘れずに自戒にし、子どもや保護者に寄り添い、連携していきたいと思う。（3）
- ・この言葉が、身に染みた。今後押し付けない態度でのぞむようにしたいと思った。
- ・心掛けているつもりでも、つい決めつけてしまうこともある。改めて意識しようと思うことができた。（2）
- ・この言葉について具体的に説明していただき、良い学びになった。
- ・自分自身、言葉に気をつけているつもりでも、傷つけやすい言葉など口にしていないか振り返ることができた。

【気づきや今後の支援について】

- ・今回の研修を聴いて、保護者だけが負担を抱える事のないように、一緒に支援していくという思いで、子どもも保護者も支えていきたい。
- ・保護者との関りの中で、安心して話が出来る相手になれるよう頑張っていきたい。
- ・支援に拒否感がでないよう、各自のペースに合わせた関りを考える必要があると思った。
- ・子どもを花に例えた話など、育児にも様々なやり方や方法があるということを学ぶことができた。
- ・日頃からの関係作りに尽力することや、学びを深める必要性を感じることができた。
- ・まずは保護者の立場に立って考え、話をよく聞いていこうと思った。(2)
- ・保護者との信頼関係を築いていくためにも、支えになる言葉を伝えることができるようになりたいと思えた。
- ・先生のお話は、何度聞いても、自分自身やこれまでの「支援」を振り返るとも貴重な時間になっている。
- ・先生の言葉にとっても感動した。今後の支援にも生かしていきたい。
- ・自己肯定感の低い子どもも多い。親子関係も良好になれるような関りを行っていきたい。
- ・今後の支援の糧となるよう、事業所でも共有したいと思う。
- ・現在、保護者への説明に難しさを感じている。

2.グループワークについて

【良かった点】

- ・違う立場の方々の意見、対応や考え方、支援に対する視点や想い、悩みごとなどについて、直接、話を聞くことができて良かった。大変参考になった(8)
- ・多職種のメンバーと、それぞれの経験を踏まえた、活発な意見交換ができて良かった。(5)
- ・他職種の方々と「保護者への関わり方」という共通した話題で、たくさんいろんな話を聞くことができた。

【共有したこと】

- ・グループでそれぞれが感じていることを話し、活発な意見交換ができた。その中でも、「自分のものさしで測らない、決めつけない」をお互い大事にして、それぞれに関わっている子ども達を大事にしていこうという話しでまとまった。
- ・「普段感じている事」「困っている事」「気をつけている事」などについて、いろいろ聞くことができた。
- ・「保育所の現状」「学校とスクールソーシャルワーカーの関わり」「保育所のあり方」「保護者の現状」などについて共有することができた。
- ・奄美北部の困り感のある子どもに対する学校やその他関係機関での支援について知ることができた。
- ・「人材不足の問題」「保護者への気づきの伝え方」「SSWとの連携」などについて、共有することができた。
- ・「保護者への声のかけ方」「言葉選びやタイミングの難しさ」などについて、大変さも含め、グループで共有した。発表で他のグループの意見も聞くことができ、参考になった。
- ・小学校と中学校の連携について聞くことができたので良かった。

【気づきや学びについて】

- ・様々な機関が参加し、それぞれの立場からの意見が出されるなど、楽しい時間だった。改めて「つなぐ」ということの大切さを感じた。
- ・普段、関りのない機関の人と話すことができ、とても勉強になった。
- ・違った職種の方たちも、支援に関する基本的な考え方は同じだと感じた。
- ・どの機関においても「連携や情報共有」が大事であり、支援に繋がると感じた。
- ・それぞれの機関も悩んでいることが分かり、相談しやすくなったと感じた。
- ・各機関から連携方法についての困り感も出されており、今後の課題だと感じた。
- ・年齢が高い子ども達へ関わっている方の話を聞き、周囲に支える大人がいた子どもと、いなかった子どもでは、大人になった時の困り感の状況が違ってくるということが分かり、子どもたちの相談できる場所がもっと増えてほしいと思った。
- ・解決することはできなかったが、今後、困り感のある子どもやその保護者を支えていく上で、様々な関係機関と連携出来るようにしていきたいと思えた。
- ・求められている「連携」を大事にしていきたいと改めて思った。
- ・今日のつながりを今後の支援に生かしていきたいと思う。

【編成、時間設定、進行等について】

- ・様々な職種の方と関われるようなグループ編成になっていて、他の職種がどのような活動を行っているのか知る機会になった。もっと関わって行きたいと思えた。
- ・グループワークの時間も長めに設定してあったので、各機関の困っていることをじっくり話し合うことができた。
- ・もっと聞きたかった。時間が欲しかった。
- ・事前ルールにより全員の意見が反映され、多職種の困りごとを共有することができた。また、対応策や今後の課題も明確となった。

【その他/GW全体を通して感じたこと】

- ・学校の先生と話げできたのは良かった。
- ・とてもよかった。よい勉強になった。(3)
- ・多職種の方から、いろんな意見を聞くことができてよかった。ありがたいと感じた(3)
- ・有意義な時間だった。
- ・ざっくばらんに、色んな意見を話すことができて良かった。
- ・初めての参加だったが、発達障害のある子どもの支援に関わるいろいろな役割の方たちと話げできる機会となり、とても良かった。
- ・お忙しい中、調整していただき、感謝している。

【運営等について】

- ・滞りなく運営され、スムーズに進行することができていた。(3)
- ・良かった。素晴らしかった(3)
- ・メールで案内してほしい。
- ・遠方で開催する際は、オンライン参加出来るとありがたい。
- ・駐車場が少ない。

2. 「困り感のある子どもへの支援」に関する課題や知りたい情報について

①.あなたが感じている、地域の課題等がありますか。

- ・ 児童期までの精神疾患を抱える児童への支援体制
- ・ 小学校では困り感がない子が、中学校に行くと急に困った状況にならないように、丁寧に保護者に対応する必要があると感じた。
- ・ 発達特性のある子どもさんが年々増えているように感じる。
- ・ 医的ケア児が保育所にも安心して通園できるように、看護師の配置があるとよい。
- ・ 医的ケア児が保育所に並行通園希望があった際に、「自分で交渉してください」と言われてしまうこのことで困っている保護者が多い。
- ・ 保護者の現状（「自分の子どもとの向き合い方に悩みを抱えている」「子どもに困り感があっても支援の必要性を感じていない」）
- ・ 祖父母世代の特別支援に関する理解がむずかしい。
- ・ 療育についてもっと理解を拡げていきたい。
- ・ 場所によっては、近所との関係が薄いと感じている。（隣に誰が住んでいるか分からない）
- ・ 連携したいという思いはあるが、難しさを感じている。今回のような顔の見える関係づくりのための機会がもっと増えたらよいと思う。
- ・ 保健師の発見から、個々への支援を早めにしてほしい。
- ・ 病院や学校との連携（時間設定やタイミングなど調整が難しい）
- ・ 他機関との連携がうまく測れないこと。
- ・ 療育機関が少ない

②.今後開催してほしい、研修や知りたい情報などがありますか。

- ・ 今後は職員にも参加させたいと思った。
- ・ 地域の相談機関や事例検討、好事例などについて知りたい。
- ・ 子どもへの具体的な関わり方に関する研修（食が細い、偏食、発言が気になる等）
- ・ 今回のテーマに関する研修をしてほしい、
- ・ 幼稚園にも案内してほしい。
- ・ にじいろ子育て
- ・ 本田秀夫氏の講話

3. その他（ご意見、ご感想など自由にお書きください。）

- ・ 有意義な研修だった。
- ・ 多職種連携の重要性を強く感じた。今後もこのような場や、機会があるとありがたい。
- ・ 奄美に来て3年目だが、初めて参加した。地域の子どもの為に頑張っている方々と様々な話題を通して、話しい合うことができ、貴重な時間になった。
- ・ とて素晴らしいグループワークができた。本当に感謝している。
- ・ 見る立場による視点の違いがわかった。
- ・ 子ども支援はもちろんだが、今、保護者支援も大切だと痛感している。
- ・ 顔の見える関係は大切だと感じる。

【あなたのことをお聞かせください】

○職種

<input type="checkbox"/> 学校等（小、中、高、他）	10名	<input type="checkbox"/> 保育機関（幼、保、認定こども園）	5名
<input type="checkbox"/> 療育機関（児発、放デイ・児発C）	5名	<input type="checkbox"/> 学童	1名
<input type="checkbox"/> 相談支援事業所	5名	<input type="checkbox"/> 医療機関	1名
<input type="checkbox"/> 行政機関（市町村）	2名	<input type="checkbox"/> 行政機関（県）	3名
<input type="checkbox"/> その他	0名	<input type="checkbox"/> 未回答	2名

○職名

事業所【管理職：管理/児発管（2）、相談支援専門員（5）】
学校【教諭（6）、講師（1）、SSW（2）】、学童【支援員（1）】
幼稚園/保育所【所長（1）、保育士（3）】、医療関係【理学療法士（1）】
行政【市町村：保健師（1）、事務職（1）、県：保健技師（2）・事務職（1）】
未回答（7）

経験年数

<input type="checkbox"/> 1～3年	10名	<input type="checkbox"/> 4～6年	4名	<input type="checkbox"/> 7～9年	5名
<input type="checkbox"/> 10年以上	14名	<input type="checkbox"/> 未回答	1名		